



一般財団法人アジア国際交流奨学財団

1. TOPJ とは

今日、我が国では、日本語に関する多種多様な試験が実施されている。その中でも、日本語学習者の日本語力を測る試験として、代表的なものに「日本語能力検定試験」（以下 JLPT）がある。TOPJ 実用日本語運用能力試験実施委員会 初代委員長 国松昭先生はこの JLPT の作問の指揮をとられていた。また、国松先生は日本語教育検定にも深く携わり、我が国の日本語教育の発展に寄与された。国松先生は、「JLPT で実現できなかった事を TOPJ で実現したい」というスローガンを掲げ、我々は国松先生の指導のもと、より実用的となる日本語運用能力を測定する試験を作り上げた。

2. TOPJ が求めるもの

進学を目的とした試験であれば、入学後に必要な学術論文を読む力や、講義を理解するための能力が養われるべきである。その試験が大学入試に対し、優位性を持つ試験であるとするならば、TOPJ は日本での生活の面で優位性を得る試験であるといえる。TOPJ では、聞く力、日常の会話力、挨拶の仕方等、大学進学のみならず、日本に暮らす外国人の基盤となる日常生活から、日本の企業で日本語が必要とされる場面まで、その現場にふさわしい日本語力を計ることを目的としている。

また、近年の生活者としての外国人の増加と、彼等に対する教育の問題等、今日、多様化が謳われる社会において、これまで以上に日本語教育の必要性が問われることとなる。このような状況にあり、本試験が日本に暮らす外国人の日本社会全体への適応能力を深める、その一助となることを願っている。

TOPJ は初級・中級・上級の 3 つの級があり、初級に関しては、A-4（全項目 80%以上の評価、CEFR A2 相当）、A-5（CEFR A1 相当）、B、C の 4 段階の評価区分があり、中級、上級に関しては各々 A～C の 3 つの評価区分が存在する。

<TOPJ CEFR 対応表>

TOPJ	CFER
上級 A	C2
上級 B	
上級 C	
中級 A	B2
中級 B	
中級 C	
初級 A-4	A2
初級 A-5	A1
初級 B	
初級 C	

初級は簡単な日本語で挨拶をしたり、自分の意思を伝えたりすることを目標とする。評価区分が A であれば基本的な読解力や会話力が身に付いており、発話が行われた状況・会話の速度にもよるが、限られた範囲内で一般的な日常生活を送ることができる。また、この段階から留学に際し、我が国の入国審査基準を満たす。

中級は日本人との基本的なコミュニケーションをとることができ、日本の大学や専門学校での学習を目的とした学習者の日本語力の指標となる。この段階から、日本の大学・専門学校等の入試の際に日本語能力の証明として使用することができる。

上級はより高度なコミュニケーション能力が要求される場面で日本語を使いこなすことができることを目標とする。大学や大学院、或いは専門学校で専門的な知識を身に付けることができる他、ビジネスの場面においても活躍することができる。この段階になると、日本での生活を不自由なく円滑に行うことができ、学校では日本人と対等に討論ができる。また、就職においても、国内外の日系企業に従事し、日本語を用いて十分に業務を遂行できる日本語力を有していることの証明となる。

3.TOPJ の特色

日本語能力を測定する試験は各々特色を有するが、TOPJ は実用的な日本語運用能力を測定することに重きを置く試験である。このような目的から TOPJ では予てより CEFR の観点に基づき、独自の CAN-DO（以下 TOPJ CAN-DO）を設定し作問の基盤としている。TOPJ が持つ、その特色は以下の通りである。

- ①使用頻度の高い実用的な語彙を採用
- ②生活・実体験に即した試験問題を多数採用
- ③「聞く」能力の尊重（読解試験と聴解試験が同分量である）

TOPJ は様々な立場の外国人(留学生、特定技能、或いは技能実習生、国内外の日系企業で働く人等)を対象としている。彼等が日本語を必要とする場面は多種多様となり、様々な状況が想定できるが、とりわけ一般性が高い場面、また、その現場にふさわしい使用頻度が高い語を抽出し、試験の問題として採用している。

4.TOPJ CAN-DO

TOPJ CAN-DO は、日常生活における、日本語が必要となる場面を想定し、各々目的を達成するにあたり必要となる最低限の言語能力を抽出した上で作成されている。また、暮らしにおける CAN-DO は中級 A までではほぼできるようになるため、中級までを取り扱う。TOPJ CAN-DO は指導者、或いは学習者が自らの指導、或いは学習目標の指標とすることを推奨し、できる限り簡潔な表現を用いてまとめている。TOPJ CAN-DO には次のような特徴がある。

①言語能力記述文が段階式になっていること

A1→A2→B1→B2 と段階が上がるにつれて、その場面においてできることが増えていくこと、または、複雑なことができるようになることを示している。

基礎段階の言語使用者		自立した言語使用者	
A1	A2	B1	B2
非常に短い会話で交流ができる。	習慣化された日常的な内容であれば準備なしで話すことができる。	身近な話題についての会話なら準備なしに参加できる。	多数の人と同時に話しても、自分の興味がある話題なら、会話に参加できる。
			

－6.1 関係 (p.18)

②活動 CAN-DO を指向する

TOPJ CAN-DO は活動 CAN-DO に限定し、言語知識等の能力 CAN-DO や方略 CAN-DO は扱わない。その理由として、語彙による表現方法や、文法の正確性はできることに直接結びつかないこと、また、方略 CAN-DO に関しても学習者の特性によるものが大きく、言語能力として一概に示せないことが挙げられる。

③過度に限定された特定の条件を作らない

TOPJ は実用的な日本語運用能力を測定する試験であり、生活・実体験に即したものが優先される。故に、TOPJ CAN-DO では一般性と使用頻度の観点から、実現性の低い条件付けはしないものとする。

④文化、習慣によって形成される CAN-DO

TOPJ が求める実用的な日本語運用能力には、日本社会への適応能力をも包含される。よって、「ゴミの分別」や「ゴミの出し方」等のように、言語活動に併せて、日本社会の文化や生活習慣から形成される活動までも CAN-DO の範疇となり得る。

複言語能力と TOPJ の考え

日本に暮らす外国人の多くはある程度のコミュニケーション能力がついてくると、自らの立場・位置づけを考える。また、能力が備わってくると同時に、母語との比較を自動的に行うものである。さらには、両親の片方が日本人である場合、或いは日本に在住歴が長い場合など様々な状況が考えられる。このような状況下にある者は、「自分が一体何者か？」という複雑な立ち位置に陥る場合が多い。言語政策の一環として、同化・統合政策を試みた経緯もあるが、我が国の場合は外国人を受け入れることを移民政策としては捉えていないことも念頭に置くべきである。

この対策として TOPJ では各々の文化を尊重した問題作りを心掛け、たとえば、国によっての特色ある行事等をも取り入れた、同化・統合とは一線を画す、より広義の意味合いでの「みんなが様々な文化、習慣を知る」というスタンスが必要であると考えます。

同化・統合政策に頼らずとも、歴史を顧みると、かつて 18 世紀のイギリスの産業革命までは、アーリア人が牛耳っていたという仮説、古代中国においても隣接する多くの国々で異なる言語・度量衡で政治を治めていた事実がある。言語の壁というものは、国という線引きの中にのみ存在すると推測する。つまり、人間にはもともと複言語能力が備わっていると考えられる。

個人

個人	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
1.1 名前	書く	名前を日本語で書くことができる。			
	話す	自分の名前を言うことができる。		名前の意味や由来について、簡単な言葉で話すことができる。	名前の意味や由来について、話すことができる。
1.2 住所	書く	自分の住所をひらがなで書くことができる。	自分の住所を正しい表記で書くことができる。		
	話す	自分の住所を言うことができる。	県、市、町等を判断して伝えることができる。		
1.3 電話番号	話す	自分の電話番号を正しく言うことができる。			
1.4 出生地 生年月日	話す	自分の出生地を正しく言うことができる。			
	話す	自分の生年月日を正しく言うことができる。		西暦を元号に変換して言うことができる。	
1.5 年齢	話す 書く	自分の年齢を正しく言うことができる。			
1.6 性別	話す 書く	自分の性別を正しく言うことができる。			「私」、「あたし」、「ぼく」等を使い分けて言うことができる。
1.7 配偶者の有無	話す	配偶者の有無を言うことができる。		「離婚」、「別居中」等婚姻状況について話すことができる。	
	読む			「未婚」、「既婚」を判断することができる。	
1.8 国籍	話す	自分の国籍を言うことができる。			
	書く	自分の国籍を日本語で書くことができる。			
1.9 出身	話す	自分の出身地を言うことができる。	出身地の場所や方位等を話すことができる。	出身地の特徴を簡単に話すことができる。	出身地の特徴を話すことができる。
	話す			国の行事について、簡潔に説明することができる。	国の行事について、成り立ちや意味等を詳しく説明することができる。

個人	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
1.10 職業	話す	自分の職業（職種・社名・学校名）を言うことができる。	仕事の内容について簡潔に紹介することができる。	仕事の内容について手順等を説明することができる。	仕事の内容を詳しく説明することができる。
	話す	勤務先・通学先の住所を言うことができる。			
	書く	自分の職業（職種・社名・学校名）を書くことができる。			
1.11 家族	話す	基本的な家族構成を言うことができる。	家族の簡単な情報を説明することができる。	家族の生活環境について、説明することができる。	
1.12 宗教	話す	自分の宗教を言うことができる。	自分の宗教の習慣を簡単に話すことができる。		自分の宗教の習慣を話すことができる。
1.13 好き嫌い	話す	自分の好きなものや嫌いなものを言うことができる。			
	話す	好き嫌いの理由を簡単に話すことができる。		好き嫌いの理由を詳しく説明することができる。	
1.14 性格 気質	話す	単語で自分の性格を言うことができる。		長所と短所を話すことができる。	理論立てて自分の性格を説明することができる。
1.15 身体的特徴	話す	視力が弱いことを伝えることができる。			
	話す	聞こえにくいことを伝えることができる。			
	話す	手足が不自由なことを伝えることができる。			

家・環境	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
2.1 家の種類 部屋	話す	簡単に家の種類（寮や下宿等）を言うことができる。			
	話す		部屋の間取りを簡単に話すことができる。		不動産屋で好みを伝え、マンションやアパート等の住居を探すことができる。
2.2 家具 家電	話す	簡単な家具であれば、何があるか言うことができる。	家具について話すことができる。		
	読む	一般的な電化製品を使うことができる。		説明書を理解し多機能の電化製品を使うことができる。	
2.3 家賃 公共料金	読む		ガスや電気等の金額を確認し支払うことができる。	金額と納付先を確認し、期限を確認したうえで支払うことができる。	
	読む 話す			請求書の内容を問い合わせることができる。	公共料金未払いの際の請求書・督促状等公的書類についてその内容を問い合わせ、支払うことができる。
2.4 地域	話す			自分の住む町について簡単に説明することができる。	住んでいるところの特徴をつかみ、説明することができる。
	話す		住居周辺の主な施設を言うことができる。		
	読む 話す	可燃ごみと不燃ごみとを分別してごみを出すことができる。	資源ごみ、古紙・廃品回収等、自治体の規則に合わせて処分することができる。	自治体に連絡をし、大型ごみや不用品を引き取ってもらうことができる。	
	読む			インターネット上で分別方法・収集日等を検索し、規則に合わせてゴミを処分することができる。	
	話す				緊急連絡等の連絡網に電話で対応することができる。

家・環境	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
2.4 地域	読む		地域のお知らせを読んで催し物の日にちや時間を知り参加することができる。	地域のお知らせを読んで催し物の日にちや時間、内容を理解し参加することができる。	回覧板や張り紙等を見て居住する自治体のルールを理解し、指示通りに行動することができる。
	聞く 話す		今困っていること等を簡潔に話すことができる。	自分の最近の生活や今困っていること等について話すことができる。	困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼むことができる。
	聞く 話す				大家、隣人からのクレームに対し、その内容を理解し返答をすることができる。
	聞く 話す				近所であれば口頭で道案内をすることができる。
2.5 植物 動物	読む			住居の規則に従い、観葉植物の設置、ペットの飼育ができる。	

日常生活	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
3.1 家で	聞く 話す	同居人、近所の人とあいさつすることができる。	近所の人とスモールトークをすることができる。	近所の人と世間話をすることができる。	
	聞く 話す	今の生活について簡単に話したり質問したりすることができる。		今の生活について話したり質問したりすることができる。	
3.2 職場で	聞く 話す	手本に示された範囲であれば簡単な作業をすることができる。	簡単な指示を聞いて、単純な作業をすることができる。	簡単な内容であれば、後輩に作業の一部を説明することができる。	後輩に仕事を教えることができる。
	聞く 話す		職場の大まかなルールを理解し働くことができる。	職場の基本的なルールを理解し働くことができる。	後輩に職場のルールを教えることができる。
	話す			スムーズに仕事ができるように、お互いに声をかけ合うことができる。	スムーズに仕事ができるように、周りの人に配慮しながら、会話することができる。
	読む 話す		都合が悪い時に、シフトの変更できる。	同僚や上司にシフト変更や仕事を頼まれても、失礼のないように断ることができる。	
	読む 書く	他者の紹介があればアルバイトの求人に応募できる。		自分でアルバイトの求人を探して、勤務時間や時給を理解し、応募することができる。	
	聞く 話す		面接で簡単な受け答えができる。	面接で自分の要望等を伝えることができる。	
	聞く 話す			職場で顧客からの電話に対応し日本人の担当者に電話をつなぐことができる。	
	話す	会社の始業時間を理解して適切な行動ができる。		1日の予定について簡単に言うことができる。	
	読む		時間の変更等について、メールやSNSを読み、社内の人に返信を送ることができる。	社内メール、通知を読み、社内の人に返信を送ることができる。	

日常生活	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
3.2 職場で	読む	単語のみのメモを読んでその内容を理解し、指示にあわせて行動することができる。	上司の簡単なメモを読んで、内容を理解し、指示にあわせて行動することができる。	上司のメモを読んで、内容を理解し、指示にあわせて行動することができる。	
	聞く 書く		人の話を聞いて単語のみでメモを取ることができる。	人の話を聞いてある程度まとまった量のメモを取ることができる。	
3.3 収入	読む	給料明細を見て、その月の収入を知ることができる。			
3.5 将来の展望	話す	将来やりたいことを言うことができる。		自分の将来のことで興味があることについて、周りの人に話したり質問したりすることができる。	

娯楽	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
4.1 イベント	話す	日時や場所の簡単な取り決めをしたうえで、友達を遊びに誘うことができる。		相手の希望や意向を汲んで計画を立てることができる。	
	読む			周辺の観光地情報を調べることができる。	観光地について、その特色や見どころ等を詳しく調べることができる。
	話す		自国のイベント（祭り／大会等）について、簡単に説明することができる。	自国のイベント（祭り／大会等）について、その特徴や見どころ等を説明することができる。	自国のイベント（祭り／大会等）について、その特徴や見どころ等を詳しく説明することができる。
	読む	招待状を見て、開催日時や場所等を理解し、行くことができる。	イベント（花火大会／祭り／コンサート等）の日時、開催場所等の情報を理解し、申し込むことができる。		
4.2 読書	読む		絵や写真が多数掲載された雑誌を読むことができる。		評論やエッセイが記載された雑誌を読むことができる。
	読む		児童向けの文学作品を読んで内容を理解することができる。	絵が多い小説を見て、その内容を概ね理解することができる。	自分の興味のあるテーマであれば、小説を読むことができる。
	読む		身近な題材を取り扱ったマンガを読んで、実体験があればその内容を理解できる。	身近な題材を取り扱ったマンガを読んで、その内容を概ね理解することができる。	自分の興味のあるテーマであれば、マンガを読むことができる。
	読む				外国語で読んだ漫画、小説を日本語で再鑑賞するとき、日本語で読むことができる。

娯楽	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
4.3 テレビ 映画鑑賞	聞く		児童向けのアニメをみて内容を概ね理解することができる。	身近な題材のアニメをみて、内容を概ね理解することができる。	アニメをみて内容を概ね理解することができる。
	聞く			身近な題材のドラマをみて、内容を概ね理解することができる。	ドラマをみて内容を概ね理解することができる。
	聞く			字幕があれば、映画を観て楽しむことができる。	標準語であれば、ほとんどの映画を観て楽しむことができる。
	聞く				映画を見て内容を理解することができる。
	読む				字幕付きの映画を見た上、二回目で映画を見ると、わからない文章・単語があってもその意味を推測することができる。
	聞く				映画、ドラマ、アニメのあらすじを理解することができる。
	書く				映画のレビューをレビューサイトを書くことができる。
	読む			映画のレビューを読んで、その映画の良い点、悪い点等を理解することができる。	
	話す 聞く			自分が見た映画について簡単に感想や意見等を述べることができる。	自分が見た映画について感想や意見等を述べることができる。
4.4 ゲーム	話す		簡単なボードゲームのルールを聞いて遊ぶことができる。	自国の遊びやゲーム、そのルールややり方を説明することができる。	

娯楽	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
4.5 音楽	話す			自分の好きな歌の歌詞を説明することができる。	
	話す	歌詞の意味は理解できないが、短いフレーズを歌うことができる。		自分の興味のある歌であれば、歌詞の意味を理解して歌うことができる。	
4.6 趣味 関心	話す	自分の趣味を言うことができる。	自分の趣味について、簡単に説明することができる。	自分の好みや趣味を話したり相手に質問したりすることができる。	
4.7 映画館 劇場 コンサート 会場	話す			電話でチケットを予約することができる。	
	話す 書く	演劇の台詞や映画の字幕の一部を復唱でき、一行程度の感想を言うことができる。	演劇の台詞や映画の字幕の一部が理解でき、横書き縦書きプログラムの一部が読め、一行程度の感想が聞けたり書けたりできる。	演劇の台詞や映画の字幕の三分の一程度が理解でき、横書ききプログラムの一部が読める。3行程度の感想を書くことができる。	演劇の台詞や映画の字幕が半分以上理解でき、縦書きプログラムの一部が読め、5行以上の感想を書くことができる。
4.8 アミューズメント テーマパーク 展覧会 博物館	読む 書く		演劇の台詞や映画の字幕の一部が理解でき、横書き縦書きプログラムの一部が読め、一行程度の感想が聞けたり書けたりできる。	遊園地、カラオケ等で禁忌事項を聞いて理解し、規則を守ることができる。	
	読む 話す			展示品の案内や説明を読み、その内容を概ね理解し、鑑賞することができる。	展示品の案内や説明を読み、その内容を概ね理解し、簡単に他者に説明することができる。
	読む 話す		写真撮影や館内飲食等の最低限の禁止事項を理解し、守ることができる。	写真撮影や館内飲食等の禁止事項を概ね理解し、守ることができる。	写真撮影や館内飲食等の禁止事項を完全に理解し、他者に教えることができる。

娯楽	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
4.9 韻事	読む			詩を読んで詩を楽しむことができる。	ルールを理解し、詩を詠むことができる。
4.10 スポーツ	話す		スポーツの応援ができる。	試合状況等を簡単に人に伝えることができる。	試合状況等を詳しく人に伝えることができる。
	話す		最低限のルールを聞いて理解したうえで、参加、あるいは鑑賞ができる。	ルールを簡単に説明することができる。	
4.11 新聞 記事	読む			新聞の見出しを見て大意をとることができる。	
	読む			身近な内容であれば、ある程度理解しながら読むことができる。	幅広いテーマで、ある程度読むことができる。
	書く			縦書きのレイアウトを理解し、文のつながりを読むことができる。	

旅行

旅行	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
5.1 公共交通機関	読む 聞く	事前に調べておけば、バスや電車等の公共交通機関を使うことができる。	住み慣れた地域であれば、バスや電車等の公共交通機関を使うことができる。	不便なく、バスや電車等の公共交通機関を使うことができる。	
	読む		バスや電車の目的地と時刻表を正しく見ることができる。		
	聞く		公共交通機関の車内アナウンスを聞き、駅名や目的地等確認することができる。	公共交通機関の車内アナウンスを聞き、乗換案内を聞いて確認することができる。	公共交通機関の車内アナウンスを聞き、運行状況を聞いて確認することができる。
	話す	公共交通機関の便名、駅名を言うことができる。			
	読む	行き先のひらがなやローマ字を読んで、目的地に行くことができる。			
	読む		目的地を事前に調べておけば、路線図を見て費用の計算ができる。		
	話す			窓口で新幹線を予約できる。	
5.2 交通	読む 話す	簡単な道順や目印を理解し、目的地に行くことができる。		道順や目印を理解し、目的地までの道順を誰かに伝えることができる。	
	読む	目的地までの簡単な地図を読み、行き方を理解することができる。			
	読む	一般的な道路標識を見て従うことができる。	生活する上での必要最低限の道路標識を見て従うことができる。		
5.3 観光	話す		知っている観光名所や名物を簡単に話すことができる。	知っている観光名所について、説明することができる。	知っている観光地について、その特色や見どころ等を詳しく説明できる。

旅行	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
5.3 観光	読む 聞く			観光地のパンフレットやガイドを見て、情報を得て行動を決めることができる。	観光地に赴き、歴史や文化等より詳細な知識を得ることができる。
	読む 聞く	旅行の予定を尋ねることができる。	旅行中の出来事について聞くことができる。		
	話す	旅行の予定を言うことができる。	旅行中の出来事について簡単に話すことができる。		旅行中の出来事について詳しく説明することができる。
5.4 宿泊施設	読む 話す 書く		旅行代理店等でホテルの申し込みができる。		行先や日程を調べて、ホテルを予約することができる。
	読む 話す			宿泊施設の規範を理解し、宿泊利用することができる。	宿泊施設のサービスを理解し活用することができる。
5.5 荷物	話す	宿泊先に荷物を預けることができる。	旅行の荷物を送ることができる。		旅行中荷物を紛失した際、適切な処理を行い、荷物の所在を確認することができる。
5.6 入国 出国	話す	入国審査の質問に単語レベルで答えることができる。	行先や現地で何をするのかを簡単に説明することができる。		
5.7 渡航文書	話す 書く		入国カードを正しく記入することができる。	助けが得られれば、入国管理局にてビザの変更や延長ができる。	一人で入国管理局にてビザの変更や延長ができる。

他人（関係）

他人 （関係）	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
6.1 関係	話す	基本的な挨拶ができる。	場面に応じた挨拶をすることができる。	挨拶に続けて雑談を続けることができる。	
	聞く 話す		周りの人に困っていることを簡単に相談することができる。	周りの人に困っていることを詳しく相談することができる。	
	話す	人の名前を呼ぶときに、「さん」付けで呼ぶことができる。	「くん」、「ちゃん」等を相手との関係によって使うことができる。		社内の人間と社外の人間、それぞれに対し適切な敬称で呼ぶことができる。
	話す	非常に短い会話で交流ができる。	習慣化された日常的内容であれば準備なしで話すことができる。	身近な話題についての会話なら準備なしに参加できる。	多数の人と同時に話しても、自分の興味がある話題なら、会話に参加できる。
	話す	自分の知っている人を簡単な表現で紹介することができる。	紹介する人について簡単に説明できる。		紹介する人について詳しく説明できる。
	話す	相手に簡単なお礼の言葉を言うことができる。		相手に感謝の気持ちを伝えることができる。	相手に表現豊かに感謝の気持ちを伝えることができる。
	話す	自分の今の気持ちを簡単な言葉で伝えることができる。	理由とともに自分の気持ちを伝えることができる。		オノマトペを理解して理由とともに自然な表現で述べることができる。
	聞く		相手の悩みを聞いて気持ちを理解することができる。		相手の悩みを聞いて気持ちを理解したうえで助言を与えることができる。
	話す		家族、知人それぞれに対し適切な言葉遣いができる。	面識がある人に対し、適切な言葉遣いで話すことができる。	社内の人間と社外の人間、それぞれに対し適切な言葉遣いで話すことができる。
	聞く 話す	自分の生活や身近な話題について友達や周りの人と話すことができる。	身近なことについて、自分の意見を簡単に言うことができる。	身近なことについて、自分の意見を正確に伝えることができる。	

他人 （関係）	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
6.1 関係	話す	簡単な言葉でお願いや頼みごとができる。	簡単な表現で、依頼したり指示したりすることができる。	丁寧な表現で、依頼したり指示したりすることができる。	授受表現を理解したうえで丁寧な表現で、依頼したり指示したりすることができる。
	話す	単語で手伝う意思を表現できる。	簡単な表現で、自分から手伝いを申し出ることができる。	丁寧な表現で、自分から手伝いを申し出ることができる。	
	聞く			適切なあいづちを打つことができる。	
6.2 招待	話す	簡単な言葉で友達を遊びに誘うことができる。		相手の都合を考慮したうえで、丁寧に誘うことができる。	
	話す	簡単な言葉で相手の誘いを断ることができる。	相手を不快にさせずに誘いを断ることができる。		
	書く		SNS で友達の予定を聞くことができる。		メールで上司や先生を丁寧な表現で招待することができる。
6.3 贈り物	話す	お土産を渡すことができる。		贈り物の習慣や相手の好みに配慮して、プレゼントを贈ることができる。	
6.4 文通	読む		個人的な手紙を読んで内容を概ね理解することができる。	個人的な手紙における出来事や感情の表現を理解することができる。	
	読む 書く		SNS、メールで簡単なやりとりができる。		長文でメールや手紙を書くことができる。
	聞く 話す		電話をかけ、用件を伝えることができる。	電話をかけ、用件を正確に伝えることができる。	相手の事情を考慮し、失礼のないように電話をかけることができる。

健康	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
7.1 体の状態	話す	体温 (XX 度)、熱の有無、怪我の状況を簡単に言うことができる。	病状の詳細を伝えることができる。	病気の症状、経過等がある程度整理して伝えることができる。	症状に関して詳細に説明できる。嘔吐の有無、痛みの有無、経過の時間数等について述べることができる。
	聞く	友人や周りの人の体の不調を聞くことができる。	相手の体調を気遣うことができる。		体調がよくない人相手に対処法等をアドバイスすることができる。
	話す		体調が悪くなったとき、症状を簡単に話して早退を申し出たり欠席の理由を言ったりすることができる。		
7.2 衛生	読む 聞く		うがいや手洗い等を理解して病気の予防ができる。	状況に応じて衛生エチケットを守ることができる。	
7.3 病気 事故	話す	110, 119 にかけることができる。	事故等の場所や状況を簡単に伝えることができる。	事故等の状況をくわしく伝えることができる。	
7.4 医療サービス	聞く		簡単な言葉のみであれば医者の指示を理解できる。	医者、薬剤師からの指示を概ね理解できる。	医者、薬剤師からの説明を理解できる。
	読む 聞く	薬の説明書を読み、一日 X 回、一回 X 錠で服用することを理解し、薬を使うことができる。	医者の薬の飲み方やアドバイスを聞いたりすることができる。	薬の説明書を読み、薬の効能や副作用を大まかに理解することができる。	薬の使用説明書を読み、禁忌事項や服用注意点等を理解することができる。
	聞く 話す		病院で風邪等の診察を受けることができる。	健康診断や予防接種を受けることができる。	
	読む		症状に合わせた診療科 (内科・外科・耳鼻科等) に行くことができる。	症状に合わせて評判のいい病院に行くことができる。	
	書く			病院の間診票に最低限の内容を記入できる。	病院の間診票に既往歴等の詳細まで記入することができる。
7.5 保険	読む			健康保険や留学保険についての仕組みを大まかに理解することができる。	

教育	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
8.1 学校教育	聞く		課題の提出期限や提出先等理解して提出物を提出することができる。		
	話す		与えられたテーマで短い話をするができる。	身近なテーマであれば、ディスカッションやプレゼンテーションで、自分の意見を簡単に述べるができる。	準備をすれば、ディスカッションやプレゼンテーションで、自分の意見を大まかに述べることができる。
	書く		与えられたテーマで簡単な作文を書くことができる。	身近なテーマであれば、ある程度論理的にレポートを書くことができる。	専攻分野であれば専門書を読み簡単な要約を作ることができる。
	読む 聞く 話す 書く	教科書のページ指定等、教師の簡単な指示を聞き取ることができる。	教師の指示や質問が聞き取れなかった時に、聞きなおすことができる。		自分の意見や考えをまとめ、メール等文章で質問することができる。
	読む		学校からのメール、通知を読むことができる。	授業のタイトルを見て、授業を選ぶことができる。	授業に関するシラバスを読み、授業内容や評価方法等をおおよそ理解して、授業を選ぶことができる。
	聞く 書く			先生の話聞いて教科書に線を引くことができる。	先生の話聞いて、大切なことをメモすることができる。
8.2 科目	読む 聞く			事前に教科書を予習して、授業を受ければ講義の内容が理解できる。	既有知識があればある程度の時事問題または現代の問題に関する記事や論文を理解することができる。
	話す		自分が勉強している科目、専門について話すことができる。		
8.3 資格 成績	読む 書く	「合格」、「不合格」等の試験結果を理解することができる。	成績表を見て大学等の成績評価区分が理解できる。	学習計画を考え、履修登録ができる。	
	読む 書く			資格取得のために必要となる授業を履修することができる。	

買い物

買い物	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
9.1 買い物施設	聞く	自分が買いたい物がどこにあるか聞くことができる。		お店の人に自分が知りたい情報を聞くことができる。	
	読む 話す		スーパー・ドラッグストア・家電量販店等目的の商品が購入できる店舗に行くことができる。	電話で商品の在庫を問い合わせることができる。	
	話す		誤って購入した商品を店頭で返品・交換することができる。	インターネットで誤って購入した商品を返品・交換することができる。	購入したものに不具合があった場合、店員に説明し、返品、或いは交換することができる。
	話す	買い物後、食事のために必要な箸等をもらうことができる。	お弁当を温めてもらうことができる。		
9.2 衣服 ファッション	読む 話す	衣料品の名称を理解して購入することができる。	店員に依頼し、服や靴等の試着をすることができる。	店員に服や靴等のサイズや好みを伝えることができる。	
	話す			美容室等で自分の希望を簡単に伝え、カットをしてもらうことができる。	
9.3 家庭用品	読む	使用頻度の高い食器やカトラリーの名称を理解した上で買い物ができる。	用途にあった商品を理解して購入することができる。	商品の特性を理解し購入することができる。	
9.4 値段	読む 話す	スーパーやコンビニ等で値段を調べて買い物をすることができる。	市場や対面式の店で値段を聞いて買い物をすることができる。		
	読む 聞く		広告や張り紙を見て、商品の値引き情報を知ることができる。	商品の紹介や値引き情報等の店内放送を聞いて理解することができる。	
	読む		クーポン券等の使用期限や条件を理解することができる。		

買い物	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
9.4 値段	読む 話す		店で会計するとき、金額の確認ができ、一致しない場合は店員に聞くことができる。		
9.5 インターネット	読む		インターネットで商品を検索し買うことができる。		
	読む 話す		電子マネーを利用して買い物することができる。		

飲食

飲食	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
10.1 飲食物類	読む	一般的な食材の名称を理解して購入することができる。	買いたい食材を店員に伝え購入することができる。	食品の賞味期限・消費期限等の情報を理解し購入することができる。	
	読む			一般的な成分（カロリー等）の表記を読んで買い物ができる。	原料や成分の情報を理解し購入することができる。
	読む			主な原材料を確認し、購入したりしなかったりすることができる。	
	読む	飲み物の熱い・冷たいを理解して購入することができる。	普通の飲料とアルコール飲料を判別して購入することができる。	水の硬度を理解して購入することができる。	
10.2 外食	読む 話す	メニューの画像や商品名、または商品の実物を指差して、また、一般的な飲み物に限っては口頭で注文することができる。	メニューに書いている商品名の意味を大体理解して注文することができる。	食べられない食材を伝え、注文することができる。	自分の好みに合わせて注文することができる（硬さや濃さ、トッピング等）。
	話す	料理の感想を単語のみで表すことができる。	料理の味や特徴を簡単に表すことができる。	料理の味や食感等、一般的な表現を用いて感想を言うことができる。	料理の味や食感等より描写的な表現を用いて具体的に感想を言うことができる。
	読む 話す	持ち帰りできるか聞くことができる。	持ち帰りの料理を口頭で注文することができる。	持ち帰った料理を店が指定する適切な方法で食べることができる。	
	読む			店の情報等を調べ、メニュー、評価を読むことができる。	
	書く	評価サイトでお店の評価（数字）を付けることができる。	評価サイトでお店の評価を付け、簡単なコメントができる。	評価サイトでお店の評価を付け、料理の味やお店の雰囲気を書くことができる。	
	聞く 話す	対面で店員に名前や予約時間を伝え、予約ができる。		電話で店員に名前や予約時間を伝え、予約ができる。	

飲食	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
10.2 外食	読む		ホームページのメールフォーム等でレストランを予約することができる。	専用アプリでレストランの予約や、料理のリクエストをすることができる。	
10.3 調理	読む 聞く	日本の調理器具を使って簡単な料理を作ることができる。	動画があれば、一般的な料理を作ることができる。	レシピを理解して一般的な料理を作ることができる。	
	読む			小さじ、大さじや分量等の単位を理解し、調理できる。	

サービス

サービス	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
11.1 郵便	読む	自分あての手紙であり、送り主の名前と住所がわかる。			
	聞く 話す	氏名・送り主を確認し、宅急便を受け取り、サインすることができる。		オペレーターを通じて宅配便再配達希望日時を伝えることができる。	音声案内に従って宅配便再配達の予約することができる。
	聞く 書く			インターネットで宅配便再配達の予約をすることができる。	
	書く		手紙の書式をわかり、切手の貼り方、住所の書き方をでき、正しく手紙、はがきを送ることができる。		
	書く	手紙で短い簡単なメッセージを伝えることができる。	手紙で、身近な出来事を伝えることができる。	手紙で、出来事、感情等の表現を伝えることができる。	
	書く		郵便局等で荷物の届け先や住所や氏名、連絡先の他、お荷物の中身の品名等を記入することができる。		
11.2 支払い	読む 話す		請求書を見て、注文内容に誤りがないかを確認することができる。	請求書に誤りがあった際、メールフォームで問い合わせることができる。	請求書に誤りがあった際、電話で問い合わせることができる。
	読む 話す		公共料金や携帯電話等の支払いができる。		支払期日が過ぎた公共料金等を各企業に連絡して支払うことができる。
	読む 話す				サービス内容の変更や料金の改定のお知らせを理解することができる。

サービス	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
11.3 電話	読む 話す			通信容量と使用料金を理解した上で携帯電話やデータ通信を契約することができる。	
	読む 話す		携帯電話が故障した際、店頭持ちこみで修理を依頼することができる。	携帯電話が故障した際、故障の状態を伝え修理を依頼することができる。	
11.4 メール インターネット	書く		依頼やお礼のメールを送ることができる。	目上の人相手に、依頼やお礼のメールを送ることができる。	
	読む	短いメールを読んで、必要事項を理解することができる。		メールを読んで、大部分理解することができる。	
	書く	SNS で短い簡単なメッセージを伝えることができる。	SNS で、身近な出来事を伝えることができる。	SNS で、出来事、感情等の表現を伝えることができる。	
	読む 書く		分からない言葉をインターネットで検索できる。		知らない、わからないことをインターネットで調べて情報を得ることができる。
11.5 銀行	読む 書く 話す		銀行で口座の開設ができる。		
	読む		ATM の言葉を理解し、正しく操作することができる。		
11.6 警察	話す	携帯電話を使って通報（110 番）することができる。			
	話す 書く		財布や在留カードを紛失した際、警察に届けすることができる。		
	話す 書く		盗難にあった際、警察に行き、警察に届けすることができる。	事故にあった、或いは見たとき、簡単なことなら事情を説明して、対処することができる。	事故にあった、或いは見たとき、被害の状況を詳しく説明することができる。

サービス

サービス	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
11.7 大使館	話す 書く			ビザの発行、更新の手続きができる。	
	話す 書く			パスポートの更新ができる。	
	話す 書く			公証をもらうことができる。	
11.8 病院 手術	話す	携帯電話を使って電話（119 番）することができる。			
その他	話す		公共施設に開館時間や休館日等を問い合わせることができる。	施設にどんなサービスがあるか問い合わせることができる。	
	話す 書く		図書館でカードを発行し本を借りることができる。		
	話す 書く		住民登録や引っ越しの際の手続きができる。	年金・保険料の減免・免除申請ができる。	
	読む 話す	駐輪所に自転車を止めることができる。			
	話す		タクシーに乗って目的地に行くことができる。	タクシーに迎えに来てもらい、目的地まで行くことができる。	

場所	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
12.1 場所	読む	案内板（画像・矢印等）を読み、目的地まで行くことができる。			
	読む	自宅から会社や学校等へ行くことができる。	目的地の地図を調べ、行くことができる。	交通機関等の情報を調べ、目的地まで行くことができる。	
	話す		簡単な道順を話すことができる。	道に迷ったとき、道を聞いたりすることができる。	
	書く		簡単な道順をわかりやすい地図を書くことができる。		
	読む	地名・建物・公共機関等の名前を正しく読むことができる。	市役所や図書館等、公共機関の名称を知り、場所を調べることができる。		
	聞く 話す	周りの人に近隣の目的地がどこにあるかをたずねることができる。	友達や同僚の住まいの場所を説明することができる。		
	読む	店員や駅員に「トイレはどこですか」「切符売り場はどこですか」等を尋ねることができる			

天気

天気	技能	レベル			
		A1	A2	B1	B2
13.1 天気	読む	天気予報の地名と天気のマークを見て、その日の天気がわかる。	天気予報でその日の天候状況を見て理解し、それに対する服装や雨具を準備することができる。	天気予報で悪天候や災害予報を見て、それに備えることができる。	災害情報、台風や異常気象の予報を見て、避難所の場所等確認することができる。
	聞く	天気予報を聞いて、雨がふるかどうかがわかる。	天気予報を聞いて、その日の天気や気温がわかる。	天気予報を聞いて、一日の詳しい天気情報がわかる。	テレビ、ラジオに流れている天気予報を正しく聞き取ることができる。
	聞く 話す			映像があれば、ニュースで災害の情報を部分的に聞き取ることができる。	ニュースで災害の情報を聞き取り、取るべき行動を周りに促すことができる。
	読む 聞く			災害時にとるべき行動を理解して備えることができる。	災害時に備えて防災用品を準備することができる。
13.1 天気	聞く 話す	天気について「晴れ」「曇り」「雨」等、言うことができる。	「いい天気ですね」「寒いですね」等、天気について簡単な挨拶をすることができる。	同僚や友達とお互いの国の天気の特徴について簡単に質問したり答えたりすることができます。	好きな季節や理由について友人などに説明することができる
	読む	気温変化に合わせ、エアコンのリモコンを使い、モードや温度調整をすることができる。	エアコンの風速と風向きを調節し、タイマー設定などを行うことができる。		
	読む	ウェブ検索で気象庁のHPを見つけ、母国語で防災気象情報を読むことができる。			台風、洪水など臨時休校、休業のお知らせを理解することができる
	書く	天気予報を見て、連絡ノートで「晴れ」「雨」等を記入することができる。	雨具を忘れた際、SNSやショートメッセージで知人に、持ってきてもらうことができる		手紙で季節の挨拶を書くことができます。



TOPJ CAN-DO 13 カテゴリー

